

日中水質汚染対策協力 分散型排水処理モデル事業の実施状況について

環境省 水・大気環境局 水環境課

1. 経 緯

- 2008年5月に日中環境大臣間で締結された「農村地域等における分散型排水処理モデル事業協力実施に関する覚書」に基づき、中国農村地域における水環境改善対策の普及に向けたモデル事業として、中国内6地域において排水処理施設を建設。
- 初年度に着手した江蘇省泰州市、重慶市の計4施設は、2009年夏に竣工後、1年間の運転管理や水質浄化効果測定の結果、所定の機能が確認されたため、今般中国側に引渡し。
- 他の4地域5施設についても、年度内に施設が完成し、来年度にかけてモニタリング後、順次引渡予定。

2. 場 所



3. 引渡式の概要

	江蘇省泰州市	重慶市
日 時	7月21日(水)	7月23日(金)
場 所	江蘇省泰州市 泰州賓館	重慶市 万州国際大酒店
日本側出席者	鷺坂水・大気環境局長他	森北水環境課長他
中国側出席者	中国環境保護部、泰州市長	万州区長

4. 引き渡した施設の状況



江蘇省泰州市趙家新村



重慶市万州区白羊鎮

5. 中国環境保護部担当局長との意見交換

引渡しに先立ち、北京にて中国環境保護部汚染物排放総量抑制司長と意見交換を実施した。水環境協力に関する意見交換の概要は下記の通り。

水環境協力

- 2008年から開始した分散型排水処理モデル事業の順調な進捗を確認の上、江蘇省・重慶市の4施設に関する引渡しに合意。
- モデル施設に中国各地からの視察が相次いでいること、中国側の自己資金による同様の排水処理事業の進捗、また2010年に策定される第12次5カ年計画に農村部における分散型排水処理施設の建設促進が位置づけられる見通しであることから、本モデル事業の成果が着実に表れていることを確認。
- 「窒素・りんの水質総量削減に係る日中共同研究」の進捗確認。
- 中国側より窒素・りんの水質総量削減に関する新たな日中協力プロジェクトの実施に関する大きな期待を表明。